

## 第2回 日本大学医学部附属板橋病院 医療安全監査委員会要旨

- 1 日時：令和3年3月17日（月）
- 2 場所：新型コロナウイルス感染症拡大の為、書面会議で開催
- 3 委員：上條由美（委員長）、各務武希、柴田誠治、西成田進、庄司義男（いずれも委員）
- 4 病院出席者：森山 光彦（病院長）  
鈴木 孝浩（副病院長 医療安全管理責任者）  
中山 智祥（感染防止対策委員長）  
福島 栄（薬剤部技術長・医薬品安全管理責任者）  
岡本 一彦（臨床工学技士室技術長補佐・医療機器安全管理責任者）  
安藤 智美（医療安全管理者）  
石崎 豊久（庶務課課長補佐）
- 5 委員が確認した内容
  - ① 医療安全管理部門
    - (1) 医療安全管理部門の組織体制について
    - (2) 医療安全管理委員会における構成員出席状況
    - (3) 医療安全講習会受講状況
    - (4) インシデント・アクシデントレポート報告状況
    - (5) 放射線読影レポート及び病理報告書未読対策
  - ② 院内感染対策部門
    - (1) 感染防止対策委員会における構成員出席状況
    - (2) 感染防止対策講習会受講状況
    - (3) 新型コロナウイルス感染症への対応状況
    - (4) 手指衛生の実施状況
    - (5) 4種抗体ワクチン接種状況
  - ③ 医薬品安全管理部門
    - (1) 薬剤管理委員会における構成員出席状況
    - (2) 医薬品の安全使用のための講習会受講状況
    - (3) 麻薬インシデントを減らすための対策（ナルカス錠のインシデント事例）
  - ④ 医療機器安全管理部門
    - (1) 医療機器放射線機器管理委員会実施状況と出席状況
    - (2) 医療機器の安全使用のための講習会受講状況

### (3) 経腸栄養分野のコネクタ導入の進捗状況

#### 6 監査結果・委員からの講評

- ① 病院全体で医療安全等に取り組みされており、管理・対策が十分に行われていることが確認できた。
- ② 放射線読影レポートについては、病理結果報告書と同様の未読対策が取られることを期待する。また、病理の未読対策について本来診療科の責任で行われるべきことを、医療安全管理室の業務として行っていると考えられることから、各診療科が主体となった対策も考慮してほしい。
- ③ 医療安全管理委員会に研修医の参加を検討してほしい。医療安全に対する理解向上が期待できる。
- ④ 医師のインシデントレポートの提出について、提出数を割り当てることは統計上の改善には繋がるが、本来のレポート提出の目的とは異なる。特に研修医に対して教育的意義として設定することは理解できることから、研修終了後も、積極的にレポート提出にかかわり、意識改革につながっているかを検証してほしい。
- ⑤ 各会議体について、WEB 会議導入により出席率が向上している。WEB 会議での内容が各部署に周知されているか検証してほしい。
- ⑥ 感染対策部門について感染症情報伝達窓口担当者ミーティングでの情報伝達・共有や「新しい生活様式」の策定、AHR 払い出し量の増加など、新型コロナ対策が十分に図られている。手指消毒は手洗いチェッカー等を用いて目で見て確認できる方法を利用すると更なる質の向上に繋がる。

以 上